

日本顎関節学会 平成 20 年度事業報告書

I. 目的（定款第 3 条）

本法人は、会員相互並びに国内外の関連団体との交流を深め、顎関節学に関する基礎的及び臨床的研究、教育及び診療についての会員の能力向上を図るとともに、それにより地域社会における口腔の健康の維持と向上に貢献し、もって国民の健康と福祉の増進に寄与することを会員共通の目的として、次の事業を行った。

- (1) 学術大会の開催に関する事業
- (2) 研究発表会、講演会、講習会及び教育研修会などの開催
- (3) 機関誌、及びその他の出版物の刊行
- (4) 顎関節疾患の診断及び治療に関する各種資格認定事業
- (5) 顎関節に関する研究者並びに医療・保健・福祉事業者の教育及び育成事業
- (6) 顎関節疾患に関する調査並びに合同研究
- (7) 国内外の顎関節治療関連団体との連携及び交流
- (8) 顎関節疾患に関する医療・保健・福祉情報の発信並びに啓発事業
- (9) 研究の奨励及び助成並びに研究業績の表彰
- (10) その他本法人の目的を達成するために必要な事業

II. 学術大会の開催（定款第 3 条 1 項）

1. 第 21 回学術大会

第 21 回学術大会を開催した。

- 1) 日時：平成 20 年 7 月 26 日（土）、27 日（日）
- 2) 場所：リーガロイヤルホテル大阪
- 3) 大会長：覚道健治（大阪歯科大学口腔外科学第二講座 教授）
- 4) 参加者：総計 849 名
 1. 事前参加登録者 435 名
 2. 当日参加登録者 414 名
- 5) 総演題数：153 演題
 1. 一般口演 43 演題
 2. ポスター発表 88 演題
 3. 認定医ケースプレゼンテーション 22 演題
- 6) 会場数
 1. 口演会場 2 会場
 2. ポスター会場・企業展示 1 会場
 3. 認定医ケースプレゼンテーション 1 会場

7) 協賛企業 : 41 社

8) 学術企画

I. 特別講演・・・2 企画

Prof. Tore A Larheim (Norway)

: Temporomandibular joint imaging :An update

Prof. Sigvard Kopp (Sweden)

: Biologic treatment of TMJ and knee joint arthritis

II. 教育講演・・・1 企画

菅本一臣教授 (大阪大学大学院医学系研究科運動器バイオマテリアル学)

: 関節の生体内 3 次元動態解析とその意義について

III. シンポジウム

1. 顎関節症初期治療のガイドライン

2. 東アジア (日本、中国、韓国) における顎関節症治療の現状と問題点

3. 開口障害の新しい概念—咀嚼筋腱・腱膜過形成症の病態と治療—

IV. イブニングセミナー

顎関節症治療における咬合の診察・検査を再考する

V. ランチョンセミナー

1. 顎関節穿刺の基本手技、パンピング、関節鏡手術への応用

2. 顎関節症と鑑別が必要な疾患—口腔顔面痛専門医の立場から—

III. 研究発表会、講演会、講習会及び教育研修会などの開催 (定款第 3 条 2 項)

1. 第 24 回学術講演会

開催日 : 2008 年 10 月 5 日 (日)

会 場 : 鶴見大学 会館

講師、講演内容 :

- ・飯田順一郎先生 : 「顎関節症・顎関節と矯正治療 : 臨床医として知っておくべきこと」
- ・今村佳樹先生 : 「顎関節症? それとも他の痛み? — 痛みの鑑別—」
- ・依田哲也先生 : 「成功に導く症型別運動療法とスプリント療法の位置づけと実際」
- ・藤沢政紀先生 : 「咬合からのアプローチ — これなら安全、可逆的咬合治療—」

全申し込み者数 90 名 (日本顎関節学会会員 81 名、非会員 9 名)

事前申し込み者数 77 名 (日本顎関節学会会員 70 名、非会員 7 名)

当日申し込み者数 13 名 (日本顎関節学会会員 11 名、非会員 2 名)

当日出席者数 90 名

欠席者数 0 名

2. 第25回学術講演会

開催日：2009年5月17日（日）

会 場：大阪歯科大学附属病院

講師、講演内容：

- ・阿部伸一先生：「もう一度勉強してみよう－顎関節症治療に必要な解剖学的知識－」
- ・柴田考典先生：「顎関節症の診断と治療の勘所」
- ・山崎要一先生：「ロウティーンの顎関節症状のマネージメント」
- ・馬場一美先生：「ブラキシズムと顎関節症のマネージメント」

全申し込み者数 104名（日本顎関節学会会員93名、非会員11名）
事前申し込み者数 91名（日本顎関節学会会員84名、非会員7名）
当日申し込み者数 13名（日本顎関節学会会員9名、非会員4名）
当日出席者数 96名
欠席者数 8名

IV. 学会誌その他の刊行物の発行（定款第3条3項）

日本顎関節学会雑誌：4回発行（うち1回は大会抄録集）

第20巻特別号（2008年7月発行）

第20巻2号（2008年8月発行）

第20巻3号（2008年12月発行）

第21巻1号（2009年4月発行）

V. 顎関節疾患の診断及び治療に関する各種資格認定事業（定款第3条4項）

専門医制度を施行。専門医筆記試験を実施。

【第1回、第2回専門医試験】

日時：平成20年7月25日（金）16：00～17：00

場所：大阪歯科大学附属病院 5階 臨床講義室

【第3回、第4回専門医試験】

日時：平成20年10月5日（日）14：00～15：00

場所：鶴見大学会館 2F サブホール

【第5回専門医試験】

日時：平成21年5月17日（日）14：00～15：00

場所：大阪歯科大学附属病院 西館 5階ゼミ室2

専門医123名、指導医118名、研修施設69施設、関連研修施設7施設を認定。

- VI. 顎関節に関する研究者並びに医療・保健・福祉事業者の教育及び育成事業
(定款第 3 条 5 項)
歯科技工士、歯科衛生士、看護師、等に対する医療・保健・福祉事業者の教育及び育成事業を企画すべく交渉を開始した。
- VII. 顎関節疾患に関する調査並びに合同研究 (定款第 3 条 6 項)
顎関節症初期治療ガイドラインの作成。
- VIII. 国内外の顎関節治療関連団体との連携及び交流 (定款第 3 条 7 項)
第 21 回学術大会時に韓国顎関節学会および中国顎関節学会との調印式を実施。
- IX. 顎関節疾患に関する医療・保健・福祉情報の発信並びに啓発事業 (定款第 3 条 8 項)
市民公開講座の企画。
- X. 研究の奨励及び助成並びに研究業績の表彰 (定款第 3 条 9 項)
平成 20 年度学会賞特別賞
該当者無し
平成 20 年度学会賞学術奨励賞
受賞者名：岡本 亨 (北海道大学大学院歯学研究科口腔機能学講座)
受賞論文名：非復位性顎関節円板前方転位例における滑液中の活性酸素の測定
日本顎関節学会雑誌 19 巻 (1) 号, P. 6~P. 11
- XI. その他本法人の目的を達成するために必要な事業 (定款第 3 条 10 項)
会則検討委員会
2009 年度 第 1 回委員会
2009 年 6 月 22 日 15:00~17:00 於、八重洲クラブ (東京)
出席者：柴田考典、井上農夫男、高木律男、矢谷博文、中山英二、
山崎要一、和嶋浩一、
委任状提出 (委員長委任)：覚道健治、田中栄二
オブザーバー：杉崎正志
協議議題：(非営利型) 一般社団法人を目指した定款変更案の検討、協議
協議結果：逐条の検討、協議の結果、一部語句の訂正を行い、会則検討委員会として全会一致で、2009 年度 第 1 回理事会および第 1 回社員総会に提案することとした。

2009年度 第2回委員会 (持ち回り審議)

協議議題：法人名称および定款変更に伴う細則等の諸規則変更案

2009年7月5日 の 2009年度 第1回理事会に於いて、(非営利型) 一般社団法人を目指した定款変更案の検討、協議を行い、ほぼ原案通り社員総会の決議にかけることで合意されたことを受けて、名称および定款変更に伴う細則等の諸規則変更案を持ち回り協議にかけた。

協議結果：逐条の検討、協議の結果、一部語句の訂正を行い、会則検討委員会として全会一致で、2009年度 第2回理事会および第1回社員総会に名称および定款変更に伴う細則等の諸規則変更案を提案することとした。